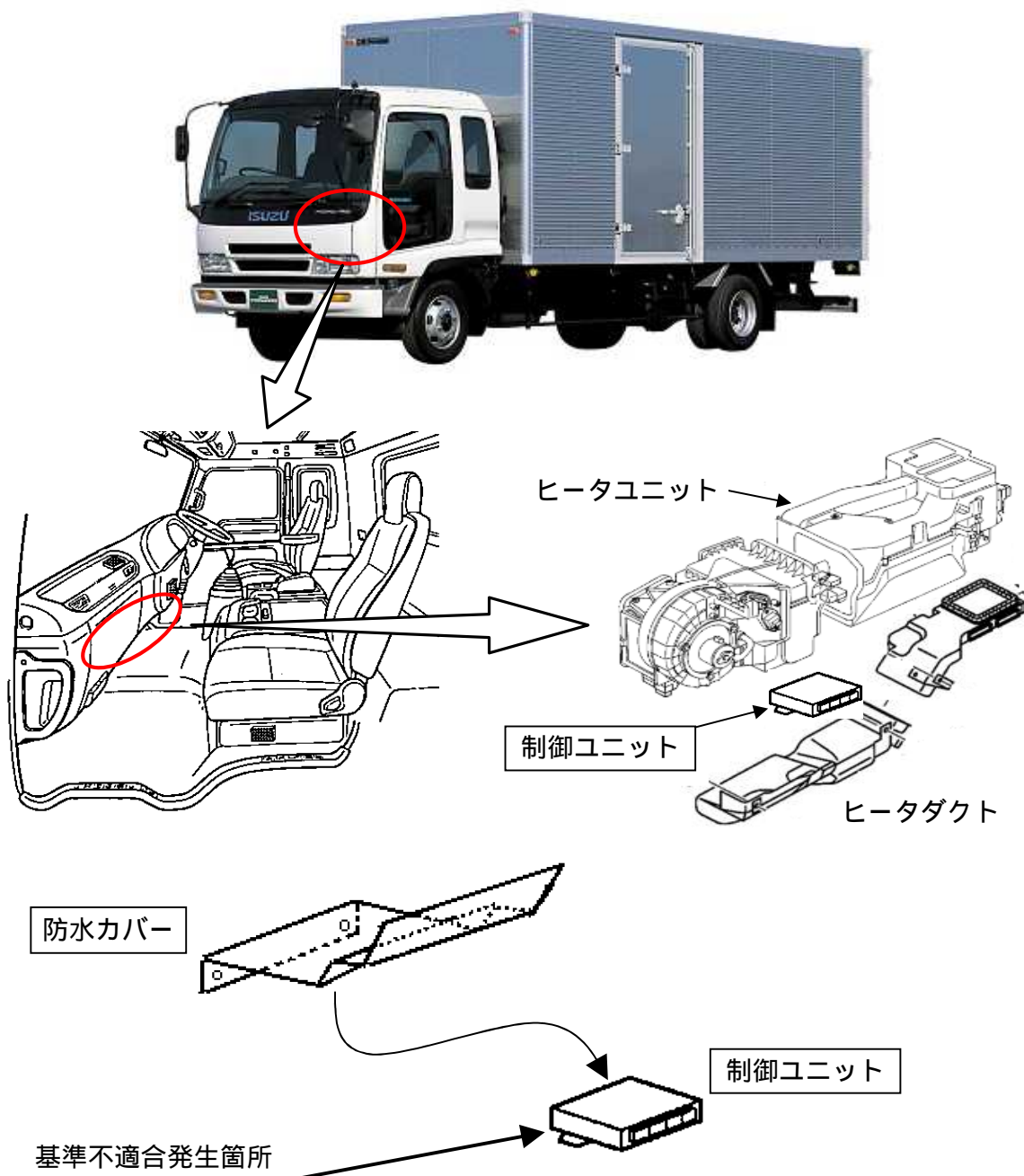


## 改善箇所説明図



トラックのインパネ下側に設置されている自動クラッチ付機械式変速機制御ユニット、CNGエンジン制御ユニットまたはトレーラ情報制御ユニットにおいて、上方に設置されているヒータ内を循環する冷却液（不凍液）のメンテナンス（交換）が不適切な場合、冷却回路に錆が発生することで、ヒータコアに亀裂が発生し、冷却液が漏れて制御ユニットに滴下することがある。そのため、そのまま使用を続けると、制御ユニット内部に冷却液が浸入し、制御回路の短絡により警告灯が点灯し、制御に支障を来し、または、火災に至るおそれがある。

### 改善の内容:

使用者に対し、冷却液（不凍液）の定期交換（2年毎）の必要性を周知し、全車両、制御ユニット上部に防水カバーを追加するとともに、制御ユニットを点検し、損傷している場合は新品と交換する。

識別：制御ユニット取付けブラケットのスタッドボルトの頭に黄色ペイントを塗布する。

注：  は措置する部品を示す。